

- 淡路の情報いっぱい! 生活創造しんぶん -

VOL. 80

月刊 ポケット

あわじ

発行日 2009年1月1日

ここがわれらの生きる場所
島の県民交流広場

「農・都 (No-to) ふれあいバザール」

日時: 2008年11月23日 (日・祝)

場所: 神戸市垂水区

学が丘東公園

地域の活性化に、コミュニティの立役者たちが頑張っています!



「かかしコンテスト」で多聞東地域から出品された「かかしさん」の紹介と、倭文の収穫祭での投票結果を発表する倭文ふれあい広場の北谷さん(中央)。(左側のかかしを支えているのはTeam「つなぎびと」のメンバー)

「倭文(しとおり)ふれあい広場」・・・南あわじ市 連絡先: 0799 46 0301(事務局)

県民交流広場は認定されてから5年後には、自立した活動が求められています。そこで将来の活動への試みとして、「農村と都市の県民交流広場が交流することで地域内で抱えている問題を解消し、さらには、お互いの県民交流広場の自立にも役立てることができないだろうか」と考えたTeam「つなぎびと」()が立役者となり、南あわじ市の「倭文ふれあい広場」と神戸市の「多聞東(たもんひがし)ふれあいのまちづくり協議会」に企画提案して、昨年11月に地域間交流イベントが実現したのです。この試みは、まず、8月と10月に多聞東地域から倭文地域の視察と地域イベント「かかしコンテスト」へ参加をしてもらい、そして次に、倭文地域から多聞東地域のフリーマーケット「農・都(No to)ふれあいバザール」に出かけて行ったのです。当日は穏やかな秋晴れで、家族連れなどの参加もあり、倭文地域の野菜販売や野菜を使ったスイーツの試食・かかしコンテストの結果発表・クイズ大会など盛りだくさんの内容でした。特に倭文地域の産直野菜は好評で、午前中に



場(右端は倭文ふれあい広場の安村さん) ← 始めては、お祭り気分です。試食の間に、お祭り気分です。試食の間に、お祭り気分です。試食の間に、お祭り気分です。

ほぼ売れてしまいました。多聞東地域の高齢者からも「外出のきっかけになって良かった」「年内中に、もう一度くらいやって欲しいものだ」などの声が聞け、大いに喜んでいただきました。今回の相互交流イベントを契機に、倭文・多聞東の両地域の継続的な交流に発展していくことを期待しています。

取材: 応援隊 & Team「つなぎびと」 栄 宏之 ()...Team「つなぎびと」って?

メンバーは、県が実施している「ふるさとひょうご創生塾」(ふるさとづくりの新しい地域リーダー養成講座/2年間)の12期生で構成しています。創生塾の2年目の実践活動として、地域間交流や地域活性化の支援を活動課題とする塾生が集まり「Team「つなぎびと」」を結成。

今の特集 ここがわれらの生きる場所

島の県民交流広場 ...コミュニティの立役者たち ...

P.1 倭文ふれあい広場(18年度認定) & 多聞東ふれあいのまちづくり協議会

P.2 ~ P.3 《20年度認定》中田ふれあい交流広場推進委員会・洲三古里地域推進委員会・仁井地域交流広場・津井地区まちづくり推進協議会

もくじ

P.4 生活創造活動グループ紹介

この季節のちょっと寄り道

P.5 淡路のちょいワザ名人紹介

ぼけっとクッキング

P.6 淡路文化会館

淡路生活科学センターからのお知らせ

P.7 ~ 8 淡路のイベント情報・展示情報

ぼけタン



中田ふれあい交流広場推進委員会

場所：淡路市中田558 1 中田会館
連絡先：0799-62-4576 (会館=広場)
代表者：脇 茂久 事務局：近藤恭弘



近藤さん 協会長 長江さん 桑島さん

中田地域はもともと農村部でしたが、地域の中心部に津名・一宮インターが出来るとして、宅地分譲や新興住宅がどんどん出来て、時代とともに発展してきました。しかし、なかなか新旧住民の交流の機会も場もありませんでした。そこで、「交流する場をつくろう」と町内会や各種団体から声が上がったのが、約3年前

でした。20回以上もの準備のための話し合いを重ね、ようやく交流広場設立にこぎつけたのです。広場には郷土芸能部、農業体験部、料理部があり、これからの活動として、郷土芸能部では重要無形文化財の梯子獅子(はしごじし)を継承していくために獅子舞や三味線、踊りを習い、祭りを盛り立てていく予定です。そして、農業体験部では地産地消を進めるために、子どもたちに米作りを体験してもらいます。その他にも高齢者の方の初心者対象のパソコン教室、男性対象の料理教室、中田地域の皆さんに自由に来ていただける「ふれあいタイム」などを計画しています。

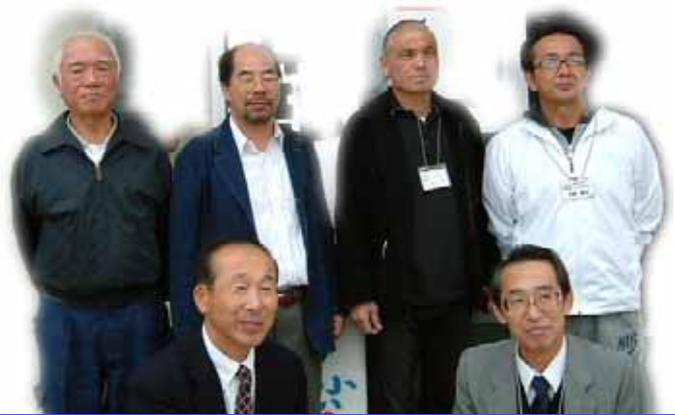
2月1日(日)には、広場のオープニングイベントを予定しています。この交流広場の活動を通して、新旧住民が顔見知りになって、「昔よく見られたようなご近所付き合いが始まれば・・・」「お互いに声をかけ合いながら、人と人とのつながりを深められる地域を作っていきたい」と、地域に対する夢を声に出してを力強く語っておられました。取材：松原真弓

洲三古里地域推進委員会



場所：洲本市千草甲221 7 千草公民館内
連絡先：0799-23-0516 (公民館=広場)
代表者：桐山 繁 事務局：笹田詢子

地域の大人と子どもが一緒に「竹とんぼ」を作っています



小川さん 戸田さん 桐山会長 高鍋さん
近藤さん 居内さん
(洲本第三小校長) (洲本第三小教頭)

洲三古里地域は小、中、高校があり、山川の自然が豊かなのですが、商店や住宅も多いところです。洲本第三小学校区は、児童は570人・所帯は4,044軒と大規模で、4連合町内会、公民館、各団体、グループ有志で組織して活動しています。11月16日に「洲三小ふるさとふれあい祭り」が小学校を開放して行われました。児童、親子連れ、住民が1,000人以上が集合し、13種類の催しで盛り上がりました。わら細工・竹とんぼ作りコーナーには50~60人も集まり、踊り、バンブーダンス、バザーも大盛況で、特に豚汁コーナーは10メートル位の行列ができていました(@_@;)とは言うものの、少子化が進み、平成16年の台風により、永く住み慣れた古里を去った人も多いと聞きま

した。そこで、共に助け合い、出会いの場を提供していくことによって、コミュニティー再生を図りたいと、会長はじめ30人の委員の方々は意気込んでおられます。2月11日には、改修工事(調理室のIH導入工事や喫茶コーナーなど)で生まれ変わる千草公民館のお披露目式があります。「洲三古里地域推進委員会」では、文化、芸術、食育、防犯などいきいきとした地域活動を積極的に支援します。「ここは、誰でも参加できる広場ですから、お気軽に申し込みや問い合わせください」と、桐山会長が言われていました。詳しい活動内容は、「洲三古里交流広場だより」に掲載されますので、ご注目！！

取材：川野喜美枝

仁井地域交流広場



人形寺会長 大迎さん 人形寺さん
山添さん 藤本さん 三野さん 奥井さん

仁井地区は、13町内会を有し、神社と寺は3カ所に分かれている歴史ある地域です。すでに保育所が合併し、小学校も残すところ1年で統合の予定です。そうすると住民全体の交流の場も機会も少なく疎遠になるのを心配し、今こそ仁井の住民が一体となって強い絆で結ばれるコミュニティ活動の必要性を感じ、県民交流広場に応募して、認定されました。活動の拠点は、地域の中心、仁井公民館です。高齢者の食事会や料理教室などに使用する調理室は、広々とリフォー

住所:淡路市仁井58 仁井公民館内
連絡先:0799-82-2854 (公民館=広場)
代表者&事務局:人形寺祥弘(にんぎょうじ よしひろ)

ム。2階の和室もバリアフリーにして、参加人数に応じて対応できるような会議室に生まれ変わりました。仁井地区には昔から受け継がれている素晴らしい文化が数多く残っており、交流広場事業と伝統文化の継承は、地域の若い人たちと共に考えていくよい機会になるはずです。交流広場のオープンセレモニーは、1月11日(日)午前9時から公民館と小学校で「第22回仁井ふるさと文化祭」と同時開催します。地域の皆さんの作品展、仁井小学校のオープンスクール、老人会と小学生の親善グランドゴルフ大会、各種団体の協力コーナーでは、ちらし寿司、おでん、ぜんざい、焼き鳥、パザー、新鮮野菜販売など盛りだくさんです。近隣の交流広場のご協力もいただきながら、コミュニティの真髄にふれていきたいと考えています。

淡路島の皆さん、この機会に風光明媚な仁井地域へぜひ一度お越しください。地域の人の温かさにつれ、冬の寒さとは反対に心はホカホカ気分になることうけあいです。
取材:廣岡ひろ子

津井地区まちづくり推進協議会



済藤さん 道上さん 興津さん 福原さん 川上さん 前谷さん 波戸さん
新崎さん、 登里会長、 斉藤さん、 登里さん

場所:南あわじ市津井2285-4
南あわじ市産業文化センター
連絡先:0799-38-0201
(産業文化センター=広場)
代表者:登里康生 事務局:登里倭江

これからの広場の展開
交流室の設置と展示室の充実
コミュニティのお披露目
今年3月末に例年行っている
「公民館祭り」と併せての
オープニングイベントを企画中

『明るい未来に向けて、変わらかわらないといっ!!』
津井地区は400年の歴史を持つ淡路瓦発祥の地で、地域の文化であり宝である「瓦」をキーワードにした地域の交流や活性化を目指しています。今回、産業文化センター内に新たに交流室を設置し、展示室の充実などの施設整備を行います。交流室を活用して開催する「瓦案内人養成講座」のワークショップを通じて、瓦の魅力・津井の魅力を整理し、ボランティアガイド「瓦案内人」の育成を通じて、地域理解・地域PRに役立てようとしています。年間約4,000人の

産業文化センターへの来館者を津井地域の活性化にも活かしていこうとする取り組みが始まりましたが、「色々なことを安易に専門家に依頼するのではなく、地域のみんで考えてアイデアを出して行くべき...」(登里会長)とあくまで地域が主体となった活動を大切にしています。認定後の会議の場で取材させていただきましたが、事務局の登里さんを中心に「一部の人だけに任せるのではなく、とにかく地域の高齢者や若い世代の人が集まることが大事!!」と、地域全体でこれからの活動を盛上げようとする意気込みを感じました。
取材:栄 宏之

生活創造活動グループ 北淡路ブランド推進協議会 《通称=北ブラ》

メンバーががそろったところで、記念にパチッ!



漁業体験のイベント風景



地域ブランド作りと情報発信

会長:大塩 茂彰

連絡先:淡路市観光協会岩屋観光案内所

0799 72 4624

私たち「北ブラ」のメンバーは、北淡路で生活を営む有志12名のグループです。淡路島北部の淡路市が活動の基盤であり、約3年前から「地域の製品のブランド化を推進し、観光や地域産業に役立てれば」との強い思いでスタートしました。いろいろな対象の視野に入れていますが、中でも「ふるせ(いかなごの親魚)」には発足当初から着目し、くぎ煮や天ぷらにして淡路サービスエリア・阪神間のイベントで振舞ったり、「ふるせ料理コンテスト」を行うなどしてPRし

てきました。また、都会の人に北淡路のよさを見ていただくこと、漁船に乗ったり、魚を食べる「漁業体験イベント」も実施してきました。会合は月に一度。なかなか思うような活動も出来ないのですが、メンバーは皆、建設的な考えをもっています。次は、北淡路の優れた商品を見つけ認定・表彰し、そのPR・販売を後押ししていく「北淡路ブランド認定制度」を展開していく予定です。我はと思う心優しい方はぜひ、北ブラに興味を持って参加して下さいね。(北ブラ:西田、竹代)



この季節の



ちよつと寄り道



奇跡の星の植物館



家族で「淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館」へ出かけました。毎年恒例の「クリスマスフラワーショーと光と花のページェント2008in淡路夢舞台」が昨年末より1月18日(日)まで開催されています。明るい時間帯には、フラワーショースペースのスケールの大きな華やかさや各コーナーの趣向、出来映えをじっくり見て廻りました。「ああ、こんな所に花が・・・」、ひっそりと咲いている花を見つけると優しい気持ちになれます。夕暮れ時からライトアップされた神秘的な華やかなフラワーショーを楽しんだ後、夢舞台での光とアートの世界で、冬の夜の空気の澄んだ寒さの中、光のオブジェに見とれて立ち尽くしてしまいました。子どもたち

は、子犬のように走りまわって喜んでます。県内の小中学生はココロンカードがあると入場無料になるのもラッキーです。気楽に優雅に楽しめるお奨めスポットです。子ども抜きでもご夫婦でゆっくりお散歩されるのも素敵です。また、1月24日からは、ラン展が開催されます。世界ラン展2008で日本大賞、優秀賞を受賞された斉藤氏の特別出展がすごいそうです。(聞くところによると、一株で230もの花数をつけたカトレアが見れるそうです。遠いところへ出かけなくても、淡路でこんなすごいラン展が見られることを、ぜひ皆さんにお知らせしたくて・・・。

応援隊:坂本厚子



淡路の「ちょいわザ・おおワザ・おもしろワザ名人」
ふろしき包みの名人 黒田有子さん



以前からリボンやペーパーなどの包装材を使ったラッピングの講師をしていましたが、時代とともにゴミや資源など環境の問題がクローズアップされるようになり過剰包装など見直すこととなりました。しかし、水引・のしに始まる「包んで贈る」という日本の贈答の文化も大切にしたいと悩んでいたところ出会ったのがふろしきでした。ふろしきはどこの家庭にもあり、美しい文様、包みの様式美など日本の贈答の文化を再発見することができました。また、ラッピングだけでなくインテリアやマイバッグなど暮らしに取り入れ、さまざまなシーンで活躍します。そんな魅力を多くの方に知っていただけたらうれしいです。

「ふろしき研究会」への入会のおさそい

ふろしきが忘れ去られようとしている今、現代の生活の中でふろしきを活かすことを研究テーマに、京都をベースにして活動を続けている非営利の市民団体です。会員は北海道から九州沖縄まで全国に、さらに海外にも広がっています。ふろしきに興味のある方、ぜひご入会ください。
代表：森田知都子 会費：入会金1,500円 年会費：2,000円
連絡先：〒603-8157 京都市北区紫野宮東町10-3-203



「ふろしきサークルあわじ」へのおさそい

場 所：三原公民館 活動日：2ヶ月に1度 会 費：無料

淡路の「ちょいわザ・おおワザ・おもしろワザ名人」とは、島内に在住か在勤または、活動の拠点があり、自分の知識や技能を地域活性化のために活用したいと考えているボランティア精神満杯の方です。「ワザ名人」たちは、地域の集まりやイベント、グループの講座などで活躍中です。「ワザ名人」に登録したい、または、「ワザ名人」を紹介してほしい方(団体)は、淡路生活創造情報プラザ(淡路文化会館内 0799-85-1391)まで連絡を



冷え切った体を
あたためてくれる あつたか飲み物

季節もすっかり冬。寒さや生活リズムの変化で体調をくずさないように気をつけたいものです。応援隊の西山満利子、水田未央子の家庭では、冬になるとホットドリンクで、体を内側からあたためるようにしています。普段からホットドリンクを飲んでいると、風邪の予防にもなります。なるべく食べ物や生活のリズムで自然に体を温めてあげる。それが冬を元気に乗り切るコツですね。



うめ しょう ばんちゃ
梅醬番茶

【材料と作り方】一人分

- ・梅干し 中1個 ・生姜のしぼり汁 2, 3滴
- ・しょうゆ 小さじ1 (我が家は小さじ半分ぐらい)
- ・番茶 150~200cc

生姜のしぼり汁を入れたカップに梅干を入れ、フォーク等でつぶしながら温かい番茶を入れて、しょうゆをたらします。昔は家庭の常備薬として飲まれていたそうです。寒い時期には体がポカポカ、のどはさわやか。おまけにとってもおいしいのです。我が家では「梅醬番茶しょ〜」の合い言葉で、子どもたちも飛んできます。飲んだだけで健康気分！みなさんもお試し下さい。(水田)

ジンジャ + ハニー + ティー

【材料と作り方】一人分

- ・紅茶のティバッグ1個
- ・すりおろし生姜 大さじ1(大人)
(子どもは風味づけ程度に)
- ・ハチミツ 大さじ1

すりおろし生姜とハチミツを入れたカップに紅茶を注ぐだけ。すごく簡単！

「なんだか体が冷えるんだけど…」というときは、せっせと「ジンジャ・ハニーティ」を作って飲ませています。ジワァ〜とあたたまってくると、元気回復です。(西山)

放送大学4月生募集のお知らせ

テレビ等の放送を利用した通信制の大学である放送大学では、平成21年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。

放送大学では現在、「大学を、働きながら学び、卒業したい」「生涯学習の一貫として、学びを楽しみたい」など、様々な目標を持たれた幅広い世代・職業の方が、心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学などを学んでいます。

出願期間は平成20年12月15日～平成21年2月28日まで。資料は、無料でお届けします。

以下の問合せ先まで、お気軽にご請求ください。

【問合せ先】 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
放送大学兵庫学習センター (078)805-0052



淡路生活科学センター くらしの相談コーナー



こまったんお

100円均一セールとっていたら、布団敷きパットの勧誘だった!

相談事例

100円均一セールというチラシを見て出かけた。トイレトペーパーとティッシュを100円で購入。その後、「肩こりや手が痛いのが治る」「パットを肩に当て生地の花柄の色が変化すると悪いところが治る」などと勧められゲルマニウム入りシングル敷きパット（カタログ価格：23万8000円）を契約した。現金15万円を支払って購入したが、解約したい。（女性 70歳代）

アドバイス

100円の安い日用品や食品で人を集め惑わされず、「今日だけ」「ここだけ」と割安感を強調し、得た気分させ、高額な商品売りつける商法です。要らないものは買わないようにしましょう。

科学的な根拠がないのに「病気が治る」とうたうことはできません。本当に必要なものか、値段が妥当かなどよく考えましょう。

解約したい場合は、契約書面を受取ってから8日間以内であれば、クーリング・オフができます。商品を使用してしまった場合でも、期間内であれば、クーリング・オフできます。

淡路生活科学センター 電話0799-85-0999商品や契約についてお気軽にご相談ください。

消費生活相談・多重債務相談 9:00～12:00 12:45～16:30

週末消費生活相談（土・日10:00～16:00）電話0120-511-103（携帯電話不可）

【時】開催日等 【所】場所 【料】料金 【問】問い合わせ先

第46回淡路農林水産祭 【時】1月15日(木)10:00~15:30【所】伊弉諾神宮(淡路市多賀740)
農林水産物豊穰豊漁祈願祭や農林水産物の展示即売会、その年の豊作を占う粥占祭などが行われます。
【問】淡路農林水産祭事務局(洲本農林水産振興事務所 農業振興第2課) 26-2099

第31回淡路くらしのひろば展 【時】1月24日(土)13:30~16:00【所】南あわじ市緑公民館
・さわやかステージ(倭文中音楽部和太鼓演奏)・表彰・講演(NPO法人H-imagine代表 松本英揮氏)・講習(ふるしき研究会 黒田有子氏)・5Rエコクイズ・女性団体活動状況等パネル展示 など
【料】無料【問】淡路県民局 県民運動課 26-2047

淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」 74-1200 FAX 74-1201 〒656-2304 淡路市夢舞台4
【特別入館料】 大人1,200円 65才以上600円 高校生700円 中学生600円 小学生300円
前売券 大人 960円 65才以上480円(1月23日まで発売) 会期前の1月20日(火)~23日(金)は休館です。
特別展 5周年スペシャル 淡路夢舞台ラン展2009 華麗なるランガーデンショー 【時】1月24日(土)~3月1日(日)
奇跡の星の植物館オリジナル展示「侯爵の華麗なるランガーデンショー」〔全期間〕
5周年記念特別展示「王者のランコレクション」
洋蘭:斉藤正博氏(世界らん展2008日本大賞・優秀賞受賞)〔2月11日~〕
東洋蘭:野町敦志氏(高知県)、華幸園(香川県)〔1月24日~〕
日本・蘭協会によるコンテストとぼくらのお宝ラン展〔全期間〕
催し 「大隈重信のランのある暮らし」〔全期間〕
ガイドツアー ・日本・蘭協会メンバー(1/24~2/8の土日 11:00~と13:00~)
・奇跡の星の植物館スタッフツアー(上記期間以外の11:00~と13:00~)
・ランの育て方教室(講師:日本・蘭協会 1/24~2/8の土日 上記のガイドツアー終了時間後)
・特別講演「斉藤先生のランと生きる」(講師:斉藤正博氏 2/22 10:00~ 要予約)
ランオークション(3/1 13:00~)
侯爵のラン温室晩餐会(予定)(2/22 【料】18,000円(ディナー&入館料込)(先着30名)

淡路景観園芸学校 普及指導課 82-3455
まちづくりガーデナーコース(里山について考える) 【時】2月25日(水)~27日(金)9:15~16:15
【料】受講料7,600円、傷害保険600円、実習材料費1,000円【内容】里山についての基礎知識、保全方法、安全な作業方法、里山の恵みなどについての講義と実習【定員】20名(定員超過の場合抽選)【対象】兵庫県在住、在勤、または在学者【締切】2月4日(水)【申込】所定の申込書を郵送又はFAXで(用紙は本校HPからダウンロードしてください)

淡路島公園 【問】淡路島公園管理事務所 72-5366
淡路島公園を楽しもう会「花と緑の教室(フラワーアレンジメント)」
【時】2月21日(土) 10:00~12:00 13:30~15:30【料】1作品2,000円(材料費として)(要電話予約)
【所】アソビ館2Fやまもも【講師】大歳君江先生【テーマ】ひな祭り

しづかホール 【問】 62-2001
明石海峡大橋開通10周年記念 出張!なんでも鑑定団 in 淡路市 【時】2月1日(日)13:00~ 観覧申込は締め切りしました
Vol.43 太鼓アイランド淡路講座 【時】2月23日(月)、25日(水)、26日(木)19:00~ 【料】6,000円
太鼓アイランド淡路土曜一日講座(担ぎ桶基礎講座) 【時】2月28日(土)10:30~
【料】5,500円(太鼓持参の方5,000円、太鼓レンタル(要予約)は6名まで)

<p>洲本市文化体育館 25-3321 第59回知事杯 淡路総合バスケットボール選手権大会 【時】1月11日(日)、18日(日)【所】メインアリーナ 【料】観覧無料【問】淡路バスケットボール協会(洲本高校内) 22-1550 劇団四季ファミリーミュージカル「むかしむかしゾウがきた」 【時】1月18日(日)15:00~【所】文化ホール『しばえもん座』 【料】チケットは完売しました。 田尻洋一のファミリーピアノコンサート 【時】2月1日(日)14:00~【所】文化ホール『しばえもん座』 【料】大人2,000円、高校生1,000円、小中生500円 未就学児は大人1名につき2名まで無料、3人目からは500円 【問】洲本市立文化体育館 25-3321</p>	<p>淡路フィルハーモニー管弦楽団第15回定期演奏会 【時】2月8日(日)14:00~【所】文化ホール『しばえもん座』 【料】無料</p>
<p>校外作品展 【時】1月23日(金)~26日(月)【所】会議室2C-3 【料】無料【問】県立淡路特別支援学校 35-0204</p>	
<p>ふれあい作品展 【時】2月4日(水)~6日(金)【所】会議室1A 【料】無料【問】洲本市老人クラブ連合会 26-0022</p>	

南あわじ市発掘調査速報展 平成19年度調査

淡路国分寺跡や岸ノ上遺跡など8遺跡の調査結果を、出土した土器やパネルなどで紹介します。
 1月20日(火)~2月1日(日)南淡図書館 2月7日(土)~2月22日(日)西淡公民館
 2月27日(金)~3月11日(水)緑公民館 3月14日(土)~3月31日(火)淡路人形浄瑠璃資料館
【料】無料【問】南あわじ市埋蔵文化財調査事務所 42-3849

講座情報

洲本市立淡路文化史料館 24-3331 Fax 24-3341
 歴史講座「洲本城下町の成り立ちを探る」
【時】1月18日(日) 13:30 **【所】**1階研修室
【料】受講料400円+資料代 **【申込】**1月16日まで

洲本市民工房 22-3322
 手編み・フリーレースマフラーづくり(全2回)
【時】1月27日(火)、2月3日(火)13:30~15:30

1月28日(水)、2月4日(水)18:30~20:30
【定員】10名 **【料】**受講料:1,000円 材料費:2,000円前後
 コサージュづくり
【時】2月27日(金)、3月6日(金)10:00~12:00
【定員】10名 **【料】**1,000円(材料費別途)
 ヒーリング講座(女性限定)
【時】3月1日(日)10:00~12:00
【定員】10名 **【料】**受講料:1,000円

ギャラリーインフォメーション

淡路文化会館 85-1391 **【料】**無料
 (展)...展示室 (ギ)...県民ギャラリー (資)...資料室
 十の会・津名中学校合同展(展・ギ) (1/10~1/23)
 第27回書友展選抜展 (1/27~2/12)
 淡路洋画セミナー受講生作品展 (2/15~3/8)
 平成20年度「いざなぎ学園」作品展 (2/19~3/4)
洲本市民交流センターアールギャラリー 24-4450 **【料】**無料
 洲本市公私立幼稚園幼児画展 (1/6~1/28)
 洲本市公私立保育所(園)幼児画展 (2/1~2/22)
洲本市民工房 22-3322
 「写真教室」「絵手紙教室」合同展覧会 (1/17~1/18)
 淡路美術協会会員展 (2/6~2/8)
淡路人形浄瑠璃資料館 43-5037 **【料】**無料

淡路人形浄瑠璃名場面「玉藻前旭袂」(8月下旬まで)
 淡路人形浄瑠璃子ども版画展 (11/6~3/11)
 パペットフェスタ in 淡路写真展 (11/22~2/26)
 郷土が生んだ文楽太夫 五世竹本伊達大夫遺品展 (12/10~3/11)
玉青館 36-2314
 休館日:毎週月曜(月曜が祝日の場合はその翌日) 12/27~1/5休館します
【料】大 300円、高・大 200円、小・中 100円
 平成20年度館蔵品展 期間中入れ替えあり (12/4~3/31)

編集だより

新年を迎えられ、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
 毎年、私は家族に内緒で「今年目標」を掲げ、一歩でもそれに近づけるよう努力はするものの、つい怠り癖が先行してしまい、目標に到達していません。数年前「糖尿病」が判明、なるべく間食を避ける努力をしておりますが、誘惑にとんと弱く、昨年参加している「ポケットあわじ」の編集会議では、毎回応援隊の手づくりおやつ等が準備されていて、一口食すると止められないのが私にとっての試練でもあります。会議は笑いが絶えない和やかな雰囲気で行われ、時間の経つのがちになりますが、応援隊全員がそろうことは難しく、毎回顔ぶれが変わるので、顔と名前がなかなか一致しません。女性の方が持参する情報量の多さにもいつも驚かされます。本年も「ポケットあわじ」の特集にご期待ください。 応援隊 平見恵三

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内の約240カ所に配布しています。ウェブでご覧になるとカラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。下記までお気軽にどうぞ!



(発行) 淡路生活創造応援隊
 淡路県民局 淡路文化会館・淡路生活科学センター
 〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391
 FAX 0799-85-0400
 E-mail : bunka-85awaji@maia.eonet.ne.jp

「ポケットあわじ」はどこで手に入るの?・・・淡路島内各市の庁舎・公民館、ホール、商業施設などで無料配布しております。また、淡路文化会館のホームページ・下記URLでもご覧になれます。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>